

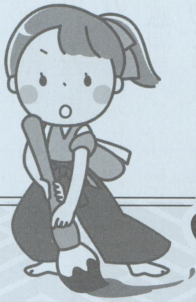
# 三泉心くし

令和8年4月5日

第55号

揮毫：渡邊 将 二

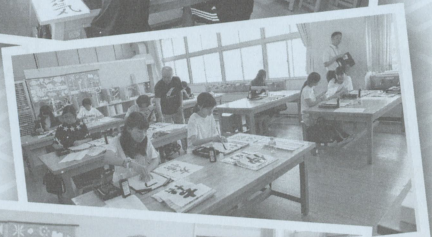
編集発行 三泉地区社会福祉協議会  
会長 渡邊 則 芳



## 人権書道教室



人権書道教室と  
寒河江市内小学校書道展  
三泉小学校六年生



六年 渡邊 叶彩

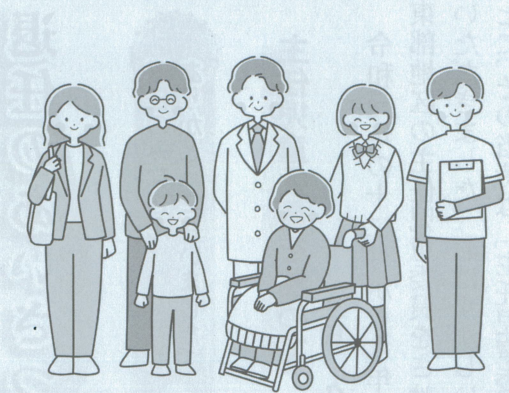
# 希望

優秀賞

わたなべ 渡邊 とあ 叶彩

寒河江西村山地区人権書道コンテストに向けて六年生の人権書道の練習会が七月に行われました。とても真剣に取り組み力強く書くことができました。審査の結果六年生の渡邊叶彩さんが寒河江人権協議会より優秀賞で表彰されました。

十二月七日～十七日まで寒河江市内小学校の書道展がハートフルセンターで開催されました。



### 福祉研修会

令和七年度の福祉研修会が、八月二十八日に下河原高齢者若者センターで行われました。内容は、寒河江市地域包括支援センター看護師の古瀬夢菜氏の講和「地域で元気に暮らすために」と、グループワークによる意見交換「地域の福祉活動で感じていることや課題について」でした。

慣れ親しんだ地域で元気に生活していくために、地域人としてどのようなことができるか、またどのような福祉サービスを利用すればいいのか等を学ぶことができました。



### 視察研修報告

事務局 土田 収

十一月十日に三泉地区社会福祉協議会の視察研修を山形市蔵王上野にある児童養護施設「山形学園」にて行いました。学園長の大場由美子氏より「最近の子どもの入所状況」と題して、講演をしていただきました。

最初に、山形学園の概況等のお話があり家庭の問題や経済状況、虐待による入所理由の他、児童本人が発達障害や不登校などの問題を抱え、学校生活においても生きづらさを持つて入所してくるなど、複合的な問題に対応していかねばならない等の説明がありました。

学園としては、生活環境を整えることはもちろんのこと、家庭的な雰囲気を作ること、心掛ける他児童の抱える問題に対応する為に精神科医や心理療法士と連携した心のケア安定を図っていることやコミュニケーション技術の習得の為のプログラムを導入していることなどが話されました。

その様な生活を過ごし、学園を巣立っていった子どもの中に、結婚の報告や訪問によって近況を知

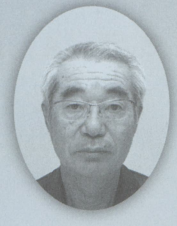


らせに来てくれるものもいて、職員としての幸せを感じている等も心やすまる話がありました。

施設の実態に多少なりとも触れ、職員の苦労ややりがいなどの話しが聞けたことで、今回の研修が充実したものになりました。

## 助け合う社会を

三泉地区社会福祉協議会 会長 渡邊 則 芳



初春の候 地区民の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。また日ごろより三泉地区社会福祉協議会の活動に対しご理解とご協力をいただいていることに心から感謝申し上げます。

近年世界的に温暖化現象が進み、異常気象で各地で山火事、豪雪、豪雨さらに地震が発生し大きな被害が出ております。

春と秋が短く夏と冬が長いように感じられます。

令和七年(二〇二五年)は、いわゆる「団塊の世代」の全員が七十五歳以上つまり後期高齢者となった年です。後期高齢社会が訪れることで生じる様々な影響は二〇二五年問題と呼ばれ、国においても全世代型社会保障の構築に向けた施策が進められています。

コロナウィルスの感染者ににつきましては、以前よりかなり減少傾向にありますが高齢者は感染リスクが高いこともあり、外出は控え多数の集まる所へは、避ける人が多くなる傾向があるのも事実です。

最近特に一人暮らし、高齢者だけの世帯が多くなりつつあります。人と人の交わりが少なくなると認知症の発生する割合が多くなると言われております。

そういつ中今後、ますます民生児童委員、社会福祉推進委員等の方々の役割が大きくなっていくと思われまます。民生児童委員、主任児童委員の改選が昨年十一月に行われ三名の方が変わられました。後継者をお願いするにも年々難しさが増しております。

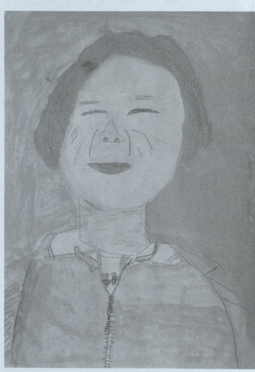
このように我々を取り巻く環境は年々変化しております。いついかなる時もみんなが助け合う社会を求め協力し合える体制づくりが必要と思われまます。

## 福祉子どもも図画展

三泉小学校三年生  
ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を

東部地区民生児童委員協議会主催、福祉子ども図画展に三泉小学校と西根小学校の三年生が描いた図画作品を十二月十一日〜二十一日ハートフルセンター一階ホールに展示されました。

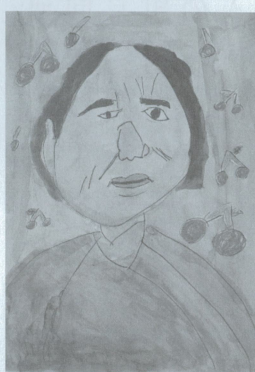
ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を生き生きと描いた素晴らしい作品でした。



あだち そうま  
安達 壮真  
わらっているおばあちゃん



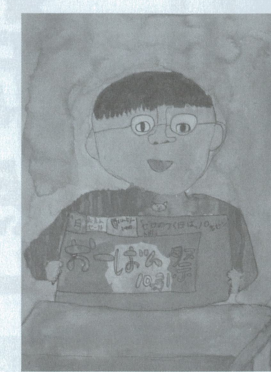
かとう あんな  
加藤 杏南  
え顔のおばあちゃん



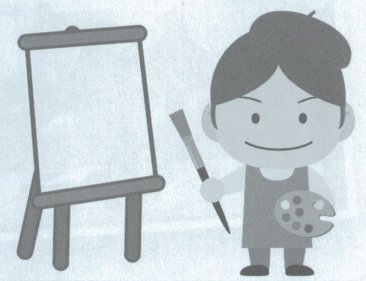
つちだ かんた  
土田 幹大  
おじいちゃんときくらんぼ



ごとう はく  
後藤 晴空  
おじいちゃんといっしょにはいチーズ



かとう ゆずか  
加藤 柚夏  
広くくを読んでいるおばあちゃん



# 退任のあいさつ

退任のみなさん  
ありがとうございました。

## 主任児童委員を務めて

土田 久子

令和元年の十二月から六年間、東部地区の主任児童委員をさせていただきました。おはすかしいことに、その当時は「主任児童委員」がどんな役割を担うのかをよく理解しておらず、右往左往していましたが、周りの方々から教えていただき、何とか二期務めることができました。

私は三泉で生まれ、地域の方々から育てていただきました。「何か恩返しをしなければ」という思いで務め始めましたが、今振り返ってみると恩返しどころか私の方が地域の方々からお世話になった六年間だったと思います。本当にありがとうございます。

これからも、地域の一員として、周りの方々とのつながりを持ちながら暮らしていきたいと思えます。

## 民生児童委員を務めて

大泉 祥子

任期中は、地域の皆様・関係機関と一緒に活動してきた委員の方々にご協力をいただき感謝申し上げます。

研修会や会議等に参加させていただき、人とのつながりや福祉に関する知識を得ることができました。定期的に訪問している以外にも、話を聞いてもらいたい、相談したいという方もいて、役割の必要性を感じました。

これからは、地域の一員としてできることを続けていきたいと思えます。

## 任期を終えて

秋場 修一

入倉、雲河原地区担当として、六年間民生委員活動をやらせていただきましたが、この度退任することになりました。

初めの頃は、コロナ対策等で活動が思うように進みませんでした。顔見知りの方が多かったため、現状を良く把握できました。

地域福祉推進員さんには多大な協力を頂きました事に感謝申し上げます。

## 歳末

### 助け合い

### 托鉢



十二月六日に山形曹洞宗青年会西村山支部の青年僧侶十名が、毎年各地で行っている歳末助け合い托鉢を中河原・上河原地区にて行われました。托鉢で集まった浄財は全て寒河江市福祉協議会に寄付されました。



## 編集後記

冬季オリンピックを観戦して多くの感動を与えられました。選手皆さんが試合終わってから口にするのは支えてもらった人たちへの感謝の言葉でした。どんな環境でも感謝の気持ちを忘れないことが、心を豊かにし自分の成長へつながることだと改めて感じました。

(土田亨淳)

